

THE RECORD

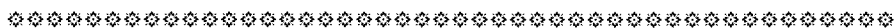
1

1998
No.458

- 1997年レコード生産概要
- 1998年の重要課題
- レコード会社が選んだ1997年の10大ニュース

RIA

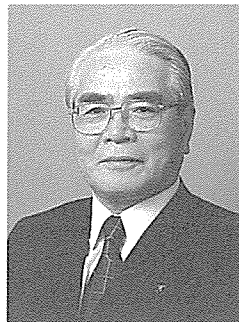
Recording Industry Association of Japan



98年頭所感

21世紀に向かう第一歩、 強く大きく踏み出そう!!

社団法人 日本レコード協会
会長 高野 宏



皆様には、輝かしい新年を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

昨年の日本経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の後、個人消費の回復が遅れ、年末には、景気は深刻な局面にあるとの認識も一部で示されました。一方、業界を取り巻く環境は一段と厳しいものとなり、多くのミリオンヒットが市場を賑わしたものの、全体としては2年連続で前年を下回りました。そんな中、衛星デジタル放送の開始やインターネットによる音楽配信、DVDオーディオ規格の検討が進むなど、業界として新たな対応を迫られました。また再販問題は、書籍など他業種との連携を深め積極的に存続運動を展開するとともに、規制緩和小委員会の公開ディスカッションや公取委研究会のヒヤリングに臨むなど業界を挙げて取り組んでまいりました。その結果、性急に廃止等の結論を出すことなく、さらに国民の議論を深める必要性を示した「最終報告書」が規制緩和小委員会から公表されました。

さて98年は、3年を残した21世紀を前にして、これまで取り組んできた多くの課題を解決するため、助走からいよいよ第一歩を踏み出す“ホップ”の年といえます。再販問題は本年3月末までに公取委が取り纏める「独禁法上の著作物の限定・明確化」が、大きな焦点となってきました。再販制度が、これからも日本にとって重要な文化政策として存続されるよう、引き続き皆様とともに関係方面に働きかけてまいります。一方著作権問題については、本格化するデジタル環境下における権利の確立が、緊急性とともに一段と重要性を増してきました。昨年はWIPOにおける「実演・レコード条約」の採択を受けて著作権法が改正され、実演家とレコード製作者に新たな権利として「送信可能化権」が付与されました。しかしながら、現在“放送”として扱われている衛星デジタル・マルチ・チャンネルなどのニア・オン・デマンド送信については、現行法の二次使用料請求権による対応では不十分であり、新たな権利確立に向けて法改正を視野に入れた取り組みを強化してまいります。また業界低迷が懸念される中、自らの変革は不可欠なものといえますが、需要拡大に関する課題には積極的に対処し、協会としてキャンペーンなどを実施、推進してまいります。

日本のレコード産業における「流通の安定化」「レコード製作者の権利拡充」並びに、「新技術の確立」に一段と力を注ぎ、21世紀に向かう第一歩を力強く大きく踏み出したいと存じます。

皆様のなお一層のご支援をお願い申し上げて、新年の挨拶とさせていただきます。

1998年の重要課題

新年を迎えるに当たって、レコード協会では会員各社に「1998年の重要課題」として掲げるべき事項を聞きました。その結果98年は、21世紀を前にして残り3年になったことから、新しい時代への第一歩として、これまでの活動の成果を踏まえて、以下の課題を解決することが指摘されました。

再販制維持による安定市場確保と需要拡大

●再販制度存続のための活動

再販制度存続のための活動は、音楽文化懇談会を構成する10団体のみならず、広く音楽業界が一体となり、また他業種との連携を強化することで、昨年は大きな盛り上がりを見せました。しかしながら、公取委は昨年12月の行革委規制緩和小委員会と公取委研究会からの報告書を受けて、本年3月末までに「独禁法上の著作物の限定・明確化」を図ることとなっており、年初からの活動は、一段と重要性を増してきています。私たちは、レコード・CD等の再販制度について、文化や教育との関わりや消費者利益にも十分に寄与してきたことを、関係方面に説明し、その存続を訴えてきましたが、さらにその努力を続けなければなりません。

●需要拡大のための諸施策実施

協会集計の生産金額は2年続きの前年割れとなり、引き続き業界低迷が懸念されています。ヒットづくりは各社の努力と取り組みによるとはいえ、全体としての需要拡大には、協会として一段と力を注がなければなりません。日本ゴールドディスク大賞の顕彰、ゴールドアルバム等の認定・ヒットチャート公表、音楽ギフトカードの普及促進、各種需要拡大キャンペーンなどは、いずれも会員各社の積極的な協力と一体化によって大きな成果が挙げられます。

レコード製作者の権利保護と拡充

●デジタル環境下における権利の確立

予てより「送信権」獲得のための活動を進める中、昨年著作権法が改正され、98年1月から「送信可能化権」が実演家とレコード製作者に付与されることとなりました。しかしながら、進展著しいデジタル環境下において、現在“放送”として扱われている衛星デジタル・マルチ・チャンネルなどのニア・オン・デマンド送信については、二次使用料請求権に

よる現行法の対応では不十分であり、法改正も視野に入れた取り組みが、緊急且つ重要です。

●「輸入権」「演奏権」の獲得

輸入をコントロールできる「輸入権」は、既に欧米諸国では確立されていますが、ライセンス制を大きな特徴とするレコード産業にあっては、大変に重要なものといえます。益々国際化が進み、レコードが国境を行き来する時代において、わが国においてもこの制度の確立が急がれます。また、レコードを使用して行われる演奏については、レコード製作者に十分な権利が保証されていない現在、引き続き「演奏権」獲得に力を尽くしていく必要があります。

●不法複製問題の対応強化

法律制度が整備確立される一方で、不法複製問題への取り組みは、レコード産業の根幹に関わる問題として重要です。カラオケ教室不法複製や海賊版、ブートレックなどの撲滅にはチェック体制の強化や法的対処などが不可欠です。

技術革新への対応

●将来を見据えた基盤整備

衛星デジタル放送の本格化やインターネットによる音楽配信は、レコード産業に多くの問題を投げかけています。パッケージ産業の発展を図るとともに、レコード産業の財産である音源の管理やその活用など、将来を見据えた新しい取り組みが急がれます。また高性能機器によるデジタル・コピーへの技術的な対応も、法制化の推進と併せて重要な課題といえます。

●DVDオーディオ規格の確立

次世代オーディオとして、国際的に検討が進められてきた「DVDオーディオ規格」が制定される見通しにあります。レコード製作者の権利保護を基本としながら、新しいパッケージメディアとして育てるべく市場展開を図っていく必要があります。

1997年レコード生産の概況

1997年（1～12月の推計）の当協会加盟29社、オーディオレコード、AV複合型レコード及びビデオレコードを合わせたレコード総生産は、数量6億8,620万枚・巻（前年比116%）、金額7,142億円（前年比98%）が見込まれます。前年対比がやや下降傾向だった昨年に引き続き、2年連続で前年を下回る結果です。

オーディオレコードの生産数量は、4,713十万枚・巻（前年比100%）、金額は、5,756億円（前年比99%）となりました。

その内訳はアナログディスクは前年を上回ったものの、主力のコンパクトディスクが昨年と同様に伸びず、数量で4,477十万枚（前年比100%）、金額で5,550億円（前年比99%）となりました。また、オーディオテープは数量で横這い、金額で9年連続で前年割れとなりました。

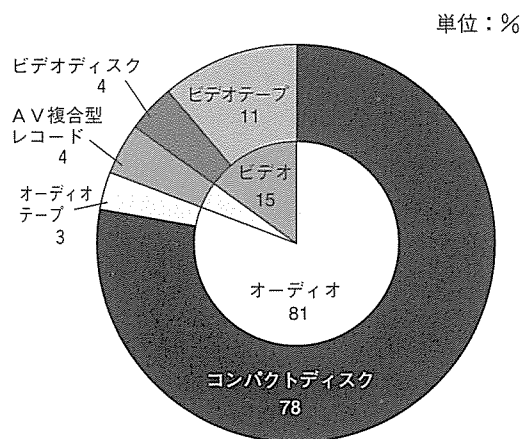
AV複合型レコード（CD-ROM、CDグラフィックス、ビデオCDなど）の生産は数量1,821十万枚（前年比214%）、金額294億円（前年比116%）となり、昨年を上回る伸び率ですが、数量の伸びに比べて金額ベースでは小さい伸びで、昨年同様低価格化傾向が続いています。

ビデオレコードは、数量328十万枚・巻（前年比93%）、金額1,092億円（前年比94%）となり、テープは前年比較で微増、ディスクは下降傾向が続いています。

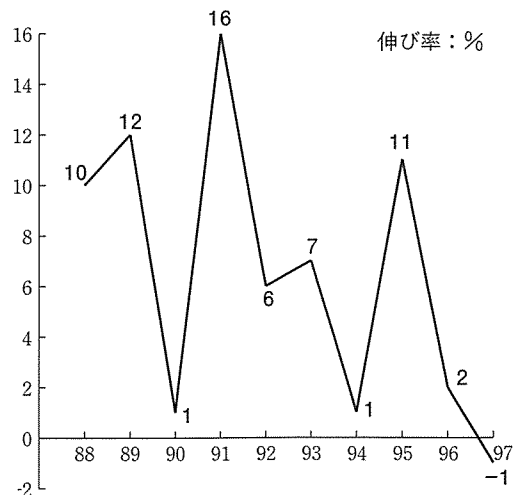
1997年1～12月のレコード総生産高（推定）

種	類	数量 (十万枚・巻)	構成比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)
オーディオ レコード	コンパクトディスク	4,477	65	100	5,550	78	99
	アナログディスク	11	0	117	14	0	107
	小計	4,488	65	100	5,564	78	99
	テープ	225	3	100	192	3	96
	合計	4,713	69	100	5,756	81	99
AV複合型レコード		1,821	27	214	294	4	116
ビデオ レコード	ディスク	109	2	84	292	4	76
	テープ	219	3	99	800	11	103
	合計	328	5	93	1,092	15	94
総合計		6,862	100	116	7,142	100	98

1. 1997年生産金額比率（推定）

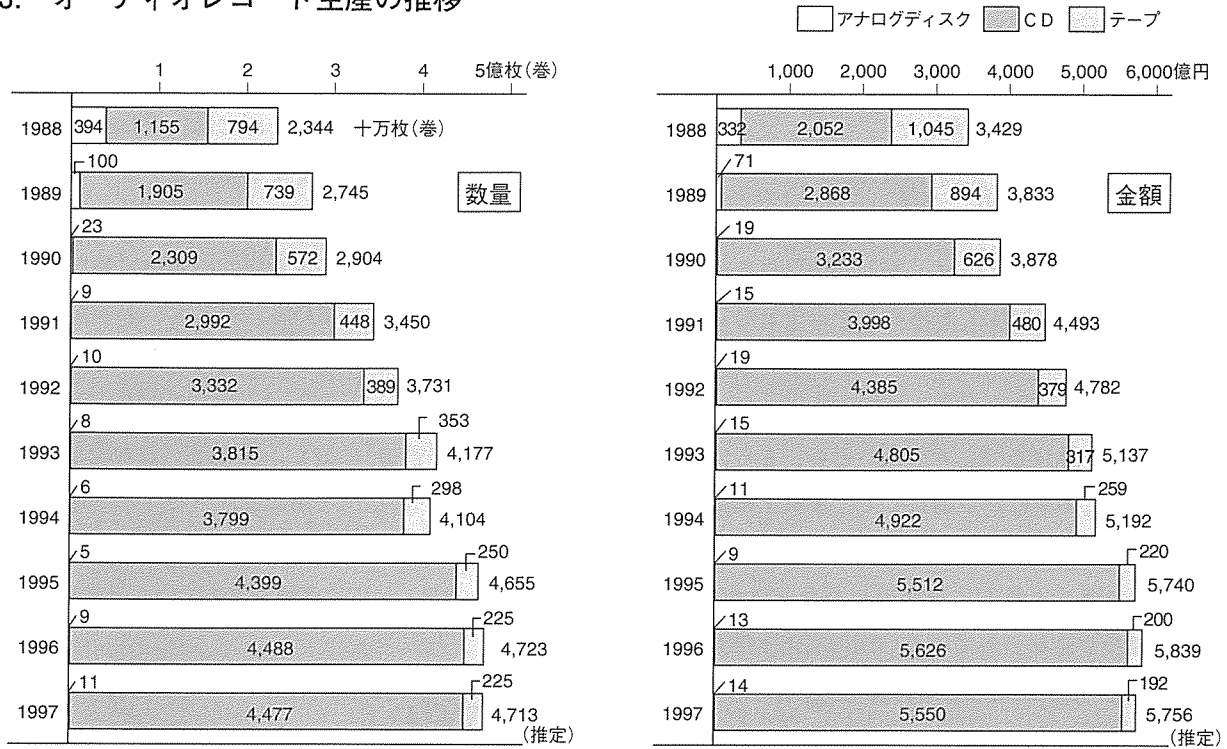


2. オーディオレコード生産金額伸び率推移

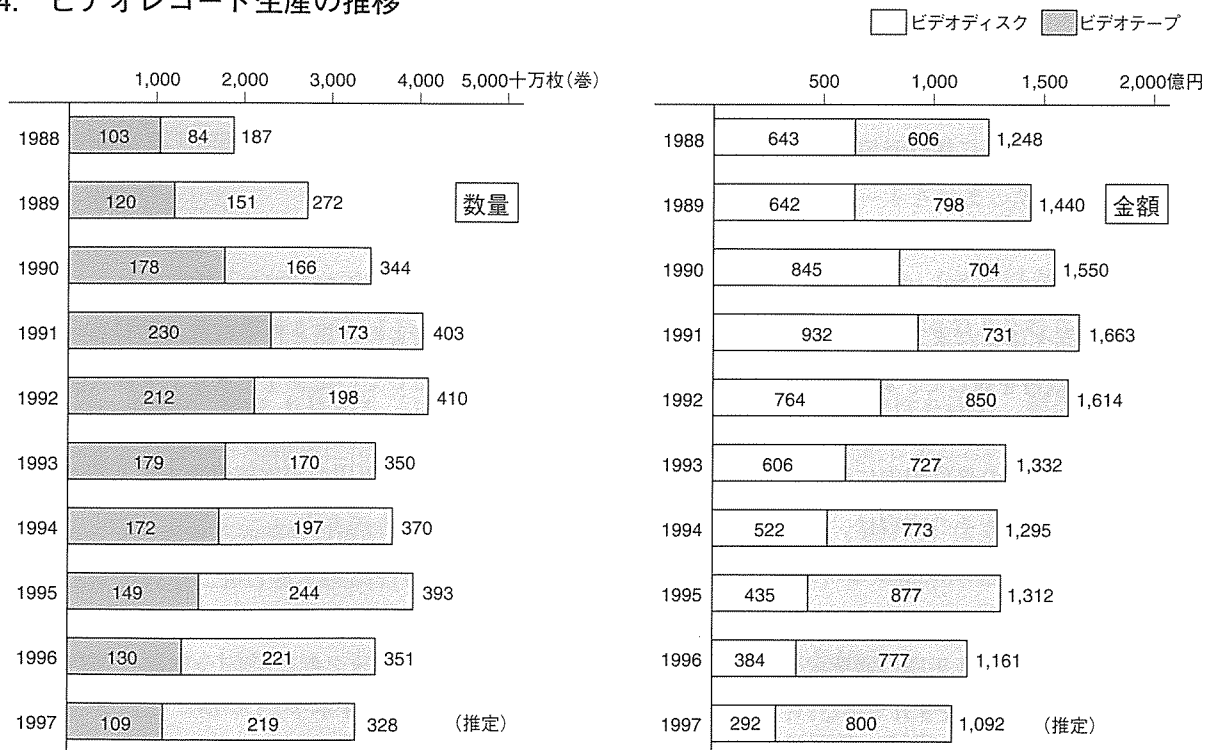




3. オーディオレコード生産の推移



4. ビデオレコード生産の推移



行革委規制緩和委員会、再販問題で「最終報告書」を公表

行政改革委員会規制緩和委員会(小委員長宮崎勇氏)は、去る12月8日付けで「大きな一歩、さらに前へ」と題して『著作物の再販売価格維持制度の見直し』に関する最終報告書を公表しました。

報告書は、再販制度が例外的に認められている新聞、書籍、雑誌及び音楽用CDなどの4品目について検討した結果、「いずれについても、現行再販制度を維持すべき『相当な特別な理由』があるとする十分な論拠が見いだせなかった」との見解を示しました。しかしながら「国民の議論を深め、その理解を踏まえて速やかに適切な措置を講じるべきである」とし、さらに多方面で検討を加える必要性を指摘して、事実上結論を先送りしました。

また報告書によると、音楽用CDなどについては、(1)再販制度が認められていない国の文化水準が、日本と比べて低いと認めることは困難(2)商品価格に流通コストが反映されるとしても、再販制度がなくなることが、文化享受機会の公平・均等性を阻害するほどの実質的な価格差を生み出すとは考えられない、とする書籍と同様の論点に加えて、(3)音楽用CDなどの再販制度は唯一日本だけのもので、再販制度のない諸外国においても、世界に通じる音楽文化を維持しているなどの指摘が行われました。

なお、最終報告書公表に伴う当協会の見解は、以下の通りです。

レコード、音楽用CD等(以下、レコード)の再販制度について、我々はこれまで公開ディスカッションの場や意見書・要望書を通じて、具体的且つ論理的にその必要性を論じてきた。それにも拘わらず、理解を得ることができずに今回の最終報告に至ったことは、極めて遺憾である。しかもその内容は、再販制度の存続が決起集会や地方自治体の決議などに見られるように、市民レベルの問題になっていることを無視した一方的なものとなっており、3年間の研究成果と思われる何等の新しい問題の提起もなされていない。

我々は、必要な規制緩和を否定するものではな

い。しかしながら、著作物の再販制度のもとで、レコードが日本の音楽文化や音楽教育に果たしてきた役割は計り知れないものがある。潤いのある世の中、21世紀が真に豊かな日本になるためには、著作物を創造するサイクルが確保され、安定した流通システムが継続しなければならないと考える。レコードの再販制度は、それを保証し多様な商品を安定した価格で消費者に提供することを可能にしている。そして、わが国の音楽文化発展のために、今後とも大きく寄与していくものと確信する。

本日「最終報告書」に接し、我々は、引き続き多様で良質なレコードの提供と消費者サービスの一層の向上に努めるとともに、レコードを含む著作物の再販制度の重要性を主張し、広く理解を求めていく所存である。

以上

平成9年12月8日

社団法人 日本レコード協会
会長 高野 宏

ジョイサウンド社発売CDに対する 製作・輸入・頒布禁止と損害賠償請求訴訟提起

12月24日(水)付で、ソニー・ミュージックエンタテインメント等の当協会会員社関係の海外大手レコード会社9社は、権利者の許諾を得ずに違法にレコードを製作・輸入・頒布していたジョイサウンド株式会社他1社に対し、著作権法違反として、製作・輸入・頒布の禁止と約1億5,900万円の損害賠償を求める訴訟を東京地方裁判所に提起しました。

訴訟の概要は以下の通りです。

1. 原告

- (1) ソニー・ミュージックエンタテインメント (アメリカ)
- (2) EMIレコーズ (イギリス)
- (3) BMGミュージック (アメリカ)

- (4) エムシーエイ・レコーズ (アメリカ)
- (5) ポリグラム・インターナショナル・ミュージック (オランダ)
- (6) A & Mレコーズ (アメリカ)
- (7) モータウン・レコード (アメリカ)
- (8) ポーラー・ミュージック・インターナショナル (スウェーデン)
- (9) ダブリューイーエー・インターナショナル (アメリカ)

2. 被告

- (1) ジョイサウンド株式会社 (東京都練馬区、代表高橋康雄) 及び代表者個人
- (2) ウェイズ株式会社 (東京都文京区、代表 吉田省三) 及び代表者個人

3. 請求内容

- (1) 被告らは対象CD (無断複製物) 48タイトルを製作・輸入・頒布してはならない。

- (2) 被告らは連帯して、損害賠償金として総額約1億5,900万円を支払え。

4. 請求理由

- (1) 被告らは、平成7年11月頃から、海外の有名アーティストのヒット曲を編成録音したCD「Hits&Hits」シリーズ、「BEST」シリーズ合計55タイトルを、権利者の許諾無く、製作・輸入・頒布していたものです。
- (2) 原告らは、著作権法違反事件として裁判所に製作等の禁止を求める仮処分を申請し、48タイトルについて、製作等禁止の仮処分決定 (平成9年8月15日) を得ました。
- (3) 本日の提訴は、仮処分事件と同趣旨の請求と、原告らが違法商品によって被った損害の賠償を目的としたものです。

1997年の10大ニュース

1. 「総決起集会」開催など、再販制維持で活発な運動

再販制存続のための活動は音楽業界が一体となって取り組むとともに、他業種との連携を強化することで大きな盛り上がりを見せました。特に11月17日の「著作物の再販撤廃に反対する総決起集会」は、関係方面に強いインパクトを与えました。また12月8日には規制緩和小委員会が「最終報告書」を公表しました。

2. 著作権法改正

3月に、実演家とレコード製作者の保護の50年遡及を含む改正著作権法が施行されました。また、予てより「送信権」獲得を進める中、6月に著作権法が改正され、98年1月から「送信可能化権」が実演家とレコード製作者に付与されることとなりました。

3. カラオケ教室不法録音対策委員会発足

カラオケ教室における不法録音に対し、さらに徹底した啓蒙活動を行うとともに、実態の把握と問題教室の撲滅を図るため、音楽業界10団体により標記委員会 (略称：カラオケ対策委員会) が、5月に発足しました。

4. レコード不況の長期化

消費需要全般の伸び悩みと、若者の消費支出の多様化などにより、レコード産業は2年連続の前年割れとなりました。

5. デジタル問題対策会議本格活動

多機能録音機の発売、衛星デジタル放送の本格化などが進む中、業界6団体が構成する「デジタル問題対策会議」が、新しい法制度の検討も含め本格的な活動をスタートさせました。

6. 日本初のブートレック刑事告訴ほか

「ディスク・ロックプレイス」によるブートレックに対し、6月に有罪判決が下されました。また8月には、東京高裁がジョイサウンド社の海賊版CDについてその違法性を認め、製作・頒布等を禁止する仮処分を決定しました。

7. インターネット共同サイト開設

3月に協会として総合的・体系的に運営するインターネットのサイト「Japan Music」を立ち上げました。

8. MD機器普及加速

9. 衛星デジタル放送本格的幕開け

10. 消費税5%実施、対応

HIT CHART DATA 1997年11月度(97年10月21日～97年11月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
----	------	--------	-----	-----

■邦楽・洋楽合同シングル BEST7

1.	愛されるより愛したい	KinKi Kids	97.11.12	JE
2.	WHITE BREATH	T. M. Revolution	97.10.22	AR
3.	Shapes Of Love	Every Little Thing	97.10.22	AVT
4.	幸せな結末	大瀧詠一	97.11.12	SME
5.	WHITE LOVE	SPEED	97.10.15	TF
6.	PEACE!/MARRY ME?	DREAMS COME TRUE	97.10.22	TO
7.	GENERATION GAP/EXIT	V6/Coming Century	97.11.6	AVT

■洋楽シングル BEST7

1.	BE THE MAN	セリーヌ・ディオン	97.11.13	SME
2.	キャンドル・イン・ザ・ウィンド 1997～ダイアナ元英皇太子妃に捧ぐ	エルトン・ジョン	97.9.27	MME
3.	ティアーズ・イン・ヘヴン	エリック・クラプトン	97.10.25	WJ
4.	チェンジ・ザ・ワールド	エリック・クラプトン	96.7.25	WJ
5.	胸いっぱいのお愛を	レッド・ツェッペリン	97.11.5	EW
6.	TO LOVE YOU MORE	セリーヌ・ディオンwithクライズラー&カンパニー	95.10.21	SME
7.	ムーンライト・セレナーデ	シカゴ	97.10.1	BMG

■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7

1.	SURVIVE	B'z	97.11.19	BM
2.	SING OR DIE	DREAMS COME TRUE	97.11.15	TO
3.	déjà-vu	hitomi	97.11.12	AVT
4.	WANDS BEST ~HISTORICAL BEST ALBUM~	WANDS	97.11.6	BG
5.	ARIGATO!	広末涼子	97.11.19	WJ
6.	レッツ・トーク・アバウト・ラヴ	セリーヌ・ディオン	97.11.15	SME
7.	ペイント・ザ・スカイ ~ザ・ベスト・オブ・エンヤ~	エンヤ	97.11.10	WJ

■クラシックアルバム BEST7

1.	Lullaby	SLAVA	97.10.22	V
2.	ロマンس	米良美一	97.9.26	K
3.	エヴァンゲリオン・クラシック①ベートーヴェン交響曲第9番	アレクサンダー・ラハバリ指揮/BRTN フィルハーモニー管弦楽団 他	97.10.22	K
4.	エヴァンゲリオン・クラシック④パッサ：マリア 他	ヴァシル・カザンシェフ 指揮/ソフィア交響楽団 他	97.10.22	K
5.	エヴァンゲリオン・クラシック⑥ヴェルディ：レクイエム	アレクサンダー・ラハバリ指揮/新スロヴァキア放送フィル 他	97.10.22	K
6.	エヴァンゲリオン・クラシック⑧ヘンデル：オラトリオ「メサイア」	ヨハネス・ソマリー 指揮/イギリス室内管弦楽団 他	97.10.22	K
7.	母の唄～日本歌曲集	米良美一	97.9.21	K

■洋楽アルバム BEST7

1.	レッツ・トーク・アバウト・ラヴ	セリーヌ・ディオン	97.11.15	SME
2.	ペイント・ザ・スカイ ~ザ・ベスト・オブ・エンヤ~	エンヤ	97.11.10	WJ
3.	SPICEWORLD	スパイス・ガールズ	97.11.1	TO
4.	MAX4	ダイアナ・キング 他	97.11.12	SME
5.	NOW7	ジャネット・ジャクソン 他	97.11.7	TO
6.	RELOAD	メタリカ	97.11.15	SME
7.	BOW WOW 3	ハンソン 他	97.11.6	MME

※AL：アルファミュージック/AR：アンティノスレコード/AVT：エイベックス・ディーディー/BG：ビーグラムレコーズ/BM：ルームスレコーズ/BME：バンダイ・ミュージックエンタテインメント/BMG：BMGジャパン/C：日本コロムビア/CR：日本クラウン/CT：カッティング・エッジ/EP：ワン・アップ・ミュージック/EW：イーストウエスト・ジャパン/FH：ファンハウス/FL：フォーライフレコード/JE：ジャニーズ・エンタテインメント/K：キングレコード/KT：キティエンタープライズ/JA：ジャパネット/ME：メルダック/MME：マーキュリー・ミュージックエンタテインメント/NA：NECアベニュー/PC：ポニーキャニオン/PG：ポリグラム/PI：パイオニアLDC/PO：ポリドール/PS：ポリスター/QT：パルコ/RO：ロックイットレコード/SME：ソニー・ミュージックエンタテインメント/TA：ニュートラス/TDK：TDKコア/TE：テイチク/TF：トイズ・ファクトリー/TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO：東芝EMI/UV：ユニバーサル ビクター/V：ビクターエンタテインメント/VAP：バップ/VF：ヴェルファアール/WJ：ワーナーミュージック・ジャパン/XR：ゼロ・コーポレーション/ZA：ツァインレコーズ

GOLD ALBUM他 認定作品 1997年11月度(97年10月21日~97年11月20日)

■アルバム (29作品)

【邦 楽】

●2ミリオン

SURVIVE/B'z/97.11.19 (BM)

●トリプル・プラチナ

PRIDE/今井美樹/97.7.16 (FL)

SING OR DIE/DREAMS COME TRUE/
97.11.15 (TO)

●ミリオン

Versus/Mr. Children/93.9.1 (TF)

Smile/岡本真夜/97.3.5 (TJC)

Junior Sweet/Chara/97.9.21 (SME)

●プラチナ

WANDS BEST ~HISTORICAL BEST ALBUM~/
WANDS/97.11.6 (BG)

déjà-vu/hitomi/97.11.12 (AVT)

ARIGATO!/広末涼子/97.11.19 (WJ)

●ゴールド

MAKES REVOLUTION/T. M. Revolution/
97.8.12 (SME)

Promise Eve/SHAZNA/97.1.22 (BMG)

DON'T STOP ME NOW/吉川晃司/97.10.1 (TO)

みんな大好き/吉田拓郎とLOVE² ALL STARS/
97.11.1 (FL)

MISSING BOY/尾崎豊/97.11.15 (SME)

【洋 楽】

●ダブル・プラチナ

レッツ・トーク・アバウト・ラヴ/セリーヌ・ディオ
ン/97.11.15 (SME)

●プラチナ

ニムロッド/グリーン・デイ/97.10.10 (WJ)

ダンスマニア 7/キャプテン・ジャック 他/
97.10.16 (TO)

SPICEWORLD/スパイス・ガールズ/97.11.1 (TO)

NOW7/ジャネット・ジャクソン 他/97.11.7
(TO)

ペイント・ザ・スカイ ~ザ・ベスト・オブ・エンヤ
~/エンヤ/97.11.10 (WJ)

MAX4/ダイアナ・キング 他/97.11.12 (SME)

●ゴールド

グレイテスト・ヒッツ 1985-1995/マイケル・ボ
ルトン/95.9.21 (SME)

BACKSTREET BOYS/BACKSTREET BOYS/
96.11.21 (AVT)

FAT OF THE LAND/prodigy/97.6.30 (AVT)

Backstreet's Back/BACKSTREET BOYS/
97.8.1 (AVT)

ファイアー・クラッカー/リサ・ローブ/97.10.28
(UV)

HITS4/ミスター・プレジデント 他/97.11.5

(WJ)

BOW WOW 3/ハンソン 他/97.11.6 (MME)

RELOAD/メタリカ/97.11.15 (SME)

■シングル (27作品)

【邦 楽】

●トリプル・プラチナ

WHITE LOVE/SPEED/97.10.15 (TF)

●ミリオン

愛されるより愛したい/KinKi Kids/97.11.12 (JE)

●ダブル・プラチナ

HIGH PRESSURE/T.M. Revolution/97.7.1 (AR)

BEAT/KI SE KI/河村隆一/97.7.18 (V)

Wanderin' Destiny/globe/97.10.15 (AVT)

Love is.../河村隆一/97.10.15 (V)

WHITE BREATH/T.M. Revolution/97.10.22
(AR)

●プラチナ

LEVEL 4/T. M. Revolution/97.4.21 (AR)

「エキセントリック少年ボウイ」のテーマ/エキセント
リック少年ボウイオールスターズ/97.9.25 (EW)

Shapes Of Love/Every Little Thing/97.10.22
(AVT)

PEACE!/MARRY ME?/DREAMS COME TRUE/
97.10.22 (TO)

HEAT/氷室京介/97.10.29 (PO)

Shinin' on -Shinin' love/MAX/97.10.29 (AVT)

GENERATION GAP/EXIT/V6/Coming Century/
97.11.6 (AVT)

幸せな結末/大瀧詠一/97.11.12 (SME)

●ゴールド

悲しみジョニー/UA/97.10.22 (V)

Hallelujah in the snow/MOON CHILD/
97.10.29 (AVT)

Sofa/片想いのオレンジ/Le Couple/97.10.29
(PC)

みんないい子/香取慎吾&原由子/97.10.29 (V)

モンタージュ/槇原敬之/97.10.29 (SME)

恋のかげら/奥田民生/97.11.1 (SME)

BLUE HEAVEN/サザンオールスターズ/97.11.6
(V)

Sunny Day Holiday/松任谷由実/97.11.12 (TO)

Bad Girls/相川七瀬/97.11.12 (CT)

サヨナラ/岡本真夜/97.11.14 (TJC)

少年/黒夢/97.11.19 (TO)

【洋 楽】

●プラチナ

BE THE MAN/セリーヌ・ディオ
ン/97.11.13
(SME)

レコード生産実績

1997年11月度(97年11月1日～97年11月31日)

1. オーディオディスク

単位：数量：千枚・巻、金額：百万円

	11月実績						1997年(1月～11月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	14,964	31	82	9,067	15	78	155,961	37	101	97,793	19	100
		224	0	78	89	0	49	1,738	0	54	863	0	48
		15,188	32	82	9,156	15	77	157,699	38	100	98,657	19	99
D	邦洋計	22,143	46	123	37,057	60	121	172,051	41	107	289,152	56	104
		10,688	22	83	15,347	25	91	89,472	21	91	129,539	25	91
		32,831	68	106	52,404	85	110	261,523	62	101	418,691	81	100
D	邦洋計	37,107	77	103	46,124	75	109	328,012	78	104	386,945	75	103
		10,912	23	83	15,436	25	91	91,211	22	89	130,402	25	90
		48,019	100	97	61,560	100	104	419,222	100	101	517,348	100	99
アナログ	邦洋計	87	0	120	122	0	143	749	0	138	946	0	137
		22	0	33	42	0	50	197	0	63	289	0	60
		108	0	78	164	0	97	945	0	111	1,236	0	106
合計	邦洋計	37,194	77	103	46,246	75	109	328,761	78	104	387,892	75	103
		10,934	23	82	15,478	25	90	91,407	22	89	130,692	25	90
		48,127	100	97	61,724	100	104	420,168	100	101	518,583	100	99

2. オーディオテープ

	11月実績						1997年(1月～11月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋計	2,085	99	94	1,935	99	99	20,400	99	100	17,722	99	98
		13	1	51	20	1	109	121	1	53	152	1	55
		2,098	100	94	1,954	100	100	20,521	100	100	17,874	100	98
カートリッジ	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	2,085	99	94	1,935	99	99	20,400	99	100	17,722	99	98
		13	1	51	20	1	109	121	1	53	152	1	55
		2,098	100	94	1,954	100	100	20,521	100	100	17,874	100	98

3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	11月実績						1997年(1月～11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	15,418	100	140	2,449	99	112	147,332	100	203	25,706	99	118
洋盤	5	0	20	21	1	24	109	0	72	327	1	59
合計	15,422	100	140	2,470	100	109	147,441	100	203	26,033	100	116

4. ビデオレコード

	11月実績						1997年(1月～11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	1,370	34	118	3,257	25	100	10,475	34	88	27,846	27	80
テープ	2,622	66	116	9,535	75	124	20,471	66	102	74,729	73	106
合計	3,992	100	117	12,793	100	117	30,946	100	97	102,576	100	97

5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

	11月実績						1997年(1月～11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	50,225	72	97	63,679	81	104	440,688	71	100	536,457	81	99
複合型CD	15,422	22	140	2,470	3	109	147,441	24	203	26,033	4	116
ビデオ	3,992	6	117	12,793	16	117	30,946	5	97	102,576	15	97
合計	69,640	100	105	78,942	100	106	619,076	100	114	665,066	100	100

備考 1. 本年実績は、会員会社「29社」の集計である。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

迎春

社団法人日本レコード協会会員社（加盟・創立 順）

日本コロムビア株式会社	〒107-11 東京都港区赤坂4-14-14	03-3584-8111
ビクターエンタテインメント株式会社	〒150 東京都渋谷区神宮前4-26-18 原宿ピアザビル	03-3746-5550
キングレコード株式会社	〒112 東京都文京区音羽1-2-3	03-3945-2131
テイチク株式会社	〒153 東京都目黒区青葉台4-7-7 住友青葉台ヒルズ	03-3481-3200
ポリドール株式会社	〒153 東京都目黒区大橋1-8-4	03-3780-8501
東芝EMI株式会社	〒107 東京都港区赤坂2-2-17	03-5512-1700
日本クラウン株式会社	〒107 東京都港区赤坂2-10-8 信和ビル	03-3582-4741
株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ	〒105 東京都港区新橋1-1-16 徳間書店本社ビル	03-3573-0370
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	〒162 東京都新宿区市谷田町1-4	03-3266-5995
マーキュリー・ミュージックエンタテインメント株式会社	〒106 東京都港区六本木4-8-5 和幸ビル	03-3479-3711
株式会社ポニーキャニオン	〒104 東京都中央区入船2-1-1 住友入船ビル	03-3555-6611
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン	〒107 東京都港区北青山3-1-2	03-5412-3111
株式会社バンダイ・ミュージックエンタテインメント	〒162 東京都新宿区余丁町3-8	03-5379-3500
株式会社フォーライフレコード	〒154 東京都世田谷区池尻3-28-8	03-5430-3106
株式会社バップ	〒102 東京都千代田区四番町5-6 日本テレビ四番町別館4F	03-3234-5711
ニュートラス株式会社	〒153 東京都目黒区大橋1-8-4 ポリグラムアネックスビル2F	03-3780-6640
株式会社ポリスター	〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-14-6	03-5721-3211
アルファミュージック株式会社	〒106 東京都港区南麻布5-1-1 PLAZA KAY	03-5475-7068
株式会社キティエンタープライズ	〒153 東京都目黒区大橋1-8-4	03-3780-8660
株式会社ファンハウス	〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-20-7	03-3792-5200
株式会社イーストウエスト・ジャパン	〒107 東京都港区北青山3-1-2	03-5412-3511
株式会社BMGジャパン	〒150 東京都渋谷区渋谷1-3-9	03-3797-9020
NECアベニュー株式会社	〒213 神奈川県川崎市高津区久本3-14-1	044-813-9530
株式会社メルダック	〒107 東京都港区北青山2-7-9 日昭ビル8F	03-3423-2525
バイオニアLDG株式会社	〒150 東京都渋谷区恵比寿南1-20-6	03-5721-1351
ユニバーサルビクター株式会社	〒150 東京都渋谷区神宮前5-52-2 JBPオーバル9F	03-5467-9501
株式会社ビーグラムレコーズ	〒106 東京都港区六本木6-8-10	03-3479-2371
エイベックス・ディー・ディー株式会社	〒107 東京都港区南青山3-1-30 住友生命青山ビル	03-5413-8550
株式会社ヴァインレコーズ	〒106 東京都港区六本木5-2-1 ほうらいやビル4F	03-3403-2461

レコード・CDの再販制度は、 日本の音楽文化を育てています。

再販制度により、日本では数多くの作品が発表されています。

それにより消費者（音楽ファン）には、「商品選択の場」が確保され、
また、多くの作家、実演家には幅広いチャンスが与えられるとともに、
次世代を担う新しい才能が育まれています。

RIA
Recording Industry Association of Japan

1998年1月号

発行人 高野 宏

編集人 木村 三郎

発行日 1998年7月10日

発行 社団法人 日本レコード協会

〒104 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F

TEL.03-3541-4411 (代)

FAX.03-3541-4460 (代)

URL:<http://www.japan-music.or.jp/>